

白藍塾オリジナル

2022入試小論文分析&解答のヒント

2022年4月発行

白藍塾の入試小論文分析は、他の予備校と違って、その問題に対して受験生がどのようにアプローチすればよいのかを具体的に説明している。そのため、この分析を参考にすれば、誰でも合格レベルの答案を書けるはずだ。該当の大学・学部の志望者は、ぜひ、これを読んで、自分で実際に答案を書いてみてほしい。

執筆・大原理志

● 慶応・総合政策学部

例年通り、複数の資料を分析・活用し、問題発見・解決をすることが求められている。また、昨年度同様、3つのテーマ（事例）が提示され、その中から1つを選んで答えるパターンとなっている。

今年度の設問全体のテーマは、トレードオフ問題。最初に、トレードオフへの対処方針として、「①優先度の高い目標の達成度を最大化する」「②全ての目標についてそれなりの達成度にする」「③トレードオフ関係を解消して、全ての目標の達成度が高まる方策を新たに考案する」という3つがあることが示されている。

問1では、昨年度同様、資料分析が求められている。3つのテーマそれぞれについて、「重要であると思われるトレードオフ関係」を、理由とともに1つずつ指摘しなければならない。中にはいくつかのトレードオフ関係が示されているテーマもあるが、問2で論じやすいもの、わかりやすいものを選べばよい。テーマ1の「コーポレートガバナンス」であれば「株主の利益とステークホルダーの利益」、テーマ2の「パーソナルデータ」だと「社会サービスの向上と私企業や国家による国民監視の危険性」、テーマ3の「サプライチェーン」だと「ジャストインタイム方式による在庫の最小化と安全在庫の確保」となるだろう。

ただ、いずれにせよ、問1の答えを考えながら、次の問2でどのテーマを選ぶのか、そしてどのように論じるのかを同時に考えることが大切だ。

問2では、問1の答えから1つを選び、先ほどの3つの対処方針のどれかを使って、どんな方策で解決すべきかを論じることが求められている。ただし、どの答えも、①を使って答えるのでは説得力がない（そもそも、それでは大した問題にならない）と思われるので、②か③のどちらかを選ぶべきだろう。

テーマ1については、③を使って、株主の利益がそのままステークホルダーの利益になるような企業経営のあり方を模索するというのが、最も説得力のある答えだろう。テーマ2については難しいが、「②を使って、私企業や国家による個人情報の利用を法的に規制しつつ、可能なかぎり社会サービスを向上させる」「③を使って、自己情報コントロール権などを確立して、情報に関して個人と企業・国家を対等な関係に置く」などが考えられる。テーマ3については、②を使って、コストとリスクのちょうどよ

いバランスを探るといのが書きやすいはずだ。

書き方としては、第1部で自分の考える対処方針と方策をズバリと示した上で、第2部でその問題点や限界などを説明しつつ、第3部でその内容をできるだけくわしく書くとよい。1000字もあるので、何らかの事例に即して、できるだけ具体的に説明することが必要だ。

©執筆者の許可なく本紙の全部もしくは一部を無断転載、無断複写することを固く禁じます。

発行・白藍塾総合情報室 (03-3369-1179) <https://hakuranjuku.co.jp>